

■記念講演開催のご案内

私たち沖縄県民が待ち望んでいた首里城が復元され、早17年の歳月が過ぎていきます。年間250万人余の観光客が訪れ、賑わいを魅せています。その間には「琉球王国のグスク及び関連遺産群」が首里の三か所を含む九か所が世界遺産として登録されました。古都首里には京都、奈良に次ぐ旧国宝と多くの文化財が点在していました。そして今、悲劇の大戦で壊滅した古都首里の再興に向けて「古都首里のまちづくり期成会」が立ち上がることになりました。会の立ち上げを記念して「記念講演」が開催されます。参加自由ですので振るってご参加下さい。

日程：平成22年4月10日（土）午後5時～午後6時（会場：首里公民館ホール）

演題：首里杜構想と首里のまちづくり

講師：琉球大学工学部環境建設工学科教授 池田孝之

問合せ：090-9582-4939（山城）



●池田先生プロフィール

- 【最終学歴】 東京都立大学大学院工学研究科（博士課程）都市計画学専攻修了 1979年3月
- 【学 位】 工学博士 東京都立大学 1980年
- 【学位論文】 都市周辺市街化地域における市街地形態の計画的規制手法に関する研究（A Study on Planning Control for Urban Design in Urbanization Area）
- 【担当科目】 都市計画特論， 都市計画システム， 国際比較都市計画
- 【専門分野】 都市・地域計画（Urban and Regional Planning）
- 【主な研究課題】 アジア型都市計画システムに関する国際比較研究， 計画規制による都市デザイン・市街地形成の研究， 戦後沖縄都市計画に対する米国民政府の影響と効果
- 【主な所属学会】 日本都市計画学会， 日本建築学会， 国際都市計画史学会
- 【学術等の受賞】 1980年 日本都市計画学会賞（論文奨励賞）， 1983年トヨタ財団全日本環境研究コンクール銀賞， 1998年 総合研究開発機構（NIRA）東畑記念賞

平成22年3月17日

古都首里のまちづくり期成会（仮称）

NPO法人首里まちづくり研究会

- | | |
|------|---|
| ■開催日 | 平成22年4月10日（土）「記念講演」17時00分
18時00分閉会 |
| ■会 場 | 首里公民館「大ホール」1階
（那覇市首里当蔵町2-8-2 電話885-2061） |
| ■連絡先 | 古都首里のまちづくり期成会 発起人会
〒903-0812 那覇市首里当蔵町2-9-1
TEL・FAX（098）887-1097（山城） |

首里準委発第7号
平成22年3月5日

各位

古都首里のまちづくり期成会(仮称) 公印
省略
発起人会代表 石川 秀雄

**古都首里のまちづくり期成会（仮称）「設立総会・式典等」
の開催について（ご案内）**

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当会の活動に格別のご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

35年の永きに渡り、首里城復元活動に邁進してきた首里城復元期成会は、所期の目的を達成されたとのことから、去る平成21年4月17日に解散いたしました。

当会は、首里城という世界に誇る遺産の復元に一役を担った功労団体首里城復元期成会の後継団体として、その実績を引きつぎ活動を更に首里のまちづくりに広げ、かつて古都首里を際立たせた「中城御殿（旧県立博物館）」を始め、点在する文化財の復元推進を図るにあたり、恒常的な活動を展開する団体の起ち上げに向けて、平成21年3月16日に発足しました。

その後、起ち上げに向けて関係行政長への設立趣旨説明や首里の戦災文化財の復元ピーアール活動を行いつつ、体制の拡充化活動を進めて参りました。

此処に至り、来る4月10日に「古都首里のまちづくり期成会（仮称）」として、下記により設立総会開催の運びとなりました。

起ち上げ後の活動は、①旧県立博物館跡地（中城御殿）はじめ、点在する古都首里の文化財の保全・復元による歴史的景観の回復推進及び、②歴史が薫る風格ある文化都市づくりの二点を重点活動と位置付け、地域の各団体との協力体制も図ってまいります。

つきましては、設立総会及び式典を下記により開催致します。貴台にはお忙しいなか誠に恐縮に存じますが、ご臨席賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 開催日 平成22年4月10日（土） 「設立総会」 16時00分
「設立式典」 16時30分 「記念講演」 17時00分
18時00分閉会
2. 会場 首里公民館「大ホール」1階
(那覇市首里当蔵町2-8-2 電話 885-2061)
3. 連絡先 古都首里のまちづくり期成会 発起人会
〒903-0812 那覇市首里当蔵町2-9-1
TEL・FAX (098) 887-1097 (山城)
E-mail : yamashiro@e-sui.com

古都首里のまちづくり期成会（仮称）

設立趣意書

沖縄県にはかつて、23 件もの建造物が旧国宝に指定されており、首里城や円覚寺の建物などを中心にそのほとんどが首里に存在していました。この数は、京都・奈良に次ぐことを誇っていましたが、去る大戦によりその総てが壊滅してしまいました。

戦後、琉球政府が首里城戦災文化財の復元計画を策定し、日本政府にその実現を要請したことにより、首里城を拠点とする「王都首里のまちづくり」が始まりました。

本土復帰翌年の 1973（S 48）年には、首里城復元期成会が発足し、同期成会の県民への啓蒙・啓発活動や幾度にも亘る国や関係機関へ要請活動が展開されたことにより首里城の復元事業が始まり、1992（H4）年には首里城正殿始め主要建物の復元が完了し、首里城公園として開園しました。

その後、首里城は沖縄文化・観光の拠点として注目され、2000（H12）年には首里城跡を始め「琉球王国のグスク及び関連遺産群」が世界遺産に登録されました。

しかしながら、県民の声を代表して首里城復元活動に邁進してきた「首里城復元期成会」は、所期の目的を達成されたとのことから、去る平成 21 年 4 月 17 日に解散をいたしました。

首里城正殿始め主要建物の復元が実現された今、その伝統技術と精神文化が世界に誇れる歴史遺産として魅力を増すためには、首里城を中心とする首里のまちづくりが重要であると考えます。

首里城復元を中心とするまちづくり構想は、「首里杜構想」（S 59 年、沖縄県策定）のなかで、今後の「首里のまちづくりの方向性」が示されています。

『古都首里のまちづくり』で大切なことは、かつての建造物の復元だけではなく、県民と地域の誇りとなり、地元地域の生活文化の場として発展しなければなりません。

『古都首里のまちづくり』の推進にあたっては、地元の意見及び地域と県民の声の高まりが重要であり、そのためには、首里城復元期成会と同様県民及び地域の声を汲みとり、恒常的にまちづくりの研究や活動を進める団体の組織化がきわめて重要な役割を果たします。

『古都首里のまちづくり期成会』（仮称）は、旧県立博物館跡地「中城御殿」の復元を始め歴史的建造物の復元及び「歴史が薫る風格ある文化都市づくり」を目的に、首里のまちづくりに関わる首里地域の各団体やその他の関係団体との協力のもと、地域の声として、また県民の声として、その思いを実現するための活動を展開し、古都首里のまちづくりを推進してまいります。

平成 22 年 4 月

設立発起人会

代表 石川 秀雄

吉田 朝啓、神村 盛秀、高良 正次、仲里 朝勝、與儀 毅

山城 岩夫、伊良波 朝義